



「ですから、目を覚ましていなさい！」 (要旨)  
 マタイの福音書 25 章 1～13 節 説教者 原田憲夫  
 今週の聖句 マタイ 25・13

本日から降臨節(アドベント)に入りました。アドベントは「到来/来臨」を意味するラテン語からきています。私たちは救い主イエス・キリストの聖誕(初臨)を喜び讃えるとともに、キリストの再臨-最後の審判と御国の完成-を待ち望む備えをしっかりといたしましょう！

天の御国；各々ともしびを携えて花婿を迎えに出る十人の娘のたとえ

\*ヨーロッパの古い教会堂の入口の右と左に十人の娘たちの像を刻んだ教会があるとのこと；

### 【1】「起きよ」と呼ぶ声

- (1) 灯火の油を備えていた5人の賢い娘たち  
 (2) 灯火の油を備えていなかった5人の愚かな娘たち

娘たちは、花婿の来るのを一日中待っていた。でもなかなか来ない。待ちくたびれた娘たちは眠ってしまった。

夜中に、「花婿だ。迎えに出なさい」と叫ぶ声がした。みな起きて自分の灯火を整えた。

灯火を灯して出迎え、婚礼の祝宴に入れた娘たちと、灯火の油の用意がなく出迎えられず婚礼の祝宴に入れなかった娘たちとに分かれた・・・

○“「起きよ」と呼ぶ声”(教会福音讃美歌67/讃美歌21・230、「コラールの王」と呼ばれる讃美歌-作詞者フリッパ・ニコライ。16世紀後半-悲惨な過酷な時代)

▶「私は今日、どちらの五人だろうか？」

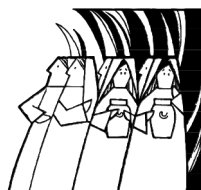
### 【2】生きた信仰の灯火を灯せ

キリストは私たち全人類に対し「最後の審判-永遠の祝福と永遠の刑罰に分ける-」を行うために再び来られます。この再臨の日を境に、「新しい天と新しい地」が到来します。

では今日、私たちはその日を迎える準備ができていますでしょうか？

キリストによる「罪のゆるし」の確信、その「救いの喜びや平安」を、保ち続けているのでしょうか。キリストに倣い、その聖い道を歩んでいるのでしょうか。

私たち信者がキリストにお会いする時、「キリストは・・・私たちの卑しいからだをご自分の栄光に輝く姿と同じ姿に変えてくださいます」(ピリ 3・21)。



▶あなたは今日、再臨のキリストをお迎えする灯火の油-生きた信仰の灯火を灯していますか？

十字架に現れた神の愛の灯火が、たましいに灯っていますか？

### 【3】ですから、目を覚ましていなさい！

紀元一世紀の教会はすでに信仰の試練を経験していました。その厳しい状況の中で、忍耐できず刹那的、衝動的な行動へと駆り立てられる人々も出てきました。

けれどもその試練の中で、信者たちを奮い立たせたのは、やはりキリストの再臨への信仰だったのです。しかしまた、再臨の日がいつなのか不信仰の芽が顔を出してきます・・・ですからキリストはこの話をこう結ばれました。

(13) 「ですから、目を覚ましていなさい。その日、その時をあなたがたは知らないのですから。」

▶その日が突然やって来ても慌てふためくことがないようにいなさい。  
 ですから、目を覚ましていなさい！

### 【勧め】

キリストの約束-「見よ。わたしはすぐに来る。それぞれの行いに応じて報いるために、わたしは報いを携えて来る。わたしはアルファであり、オメガである。最初であり、最後である。初めであり、終わりである。」(黙示録22・12-13)

▶あなたは今日、あの賢い五人の娘のように、再臨のキリストをお迎えする備えができていますでしょうか？

油断せず目を覚まし、十字架の希望の灯火を灯し、神の愛の灯火を高く掲げ、主の再び来られる日を待ち望みましょう！

\*祈り  
 \*賛美